

「山梨中銀 SDGs ファンド」による投資案件を紹介します
～公認会計士に特化したプロシエアリング事業を全国展開する企業への投資～

「山梨中銀 SDGs ファンド」（正式名称：山梨中銀 SDGs 投資事業有限責任組合。以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、ブリッジコンサルティンググループ株式会社（東京都港区、代表取締役 宮崎 良一）に対する投資を行いましたのでお知らせいたします。

1. 投資内容

- (1) 投資日 2021年12月21日
- (2) 投資形態 第三者割当増資の引受

2. ブリッジコンサルティンググループ株式会社の概要

- (1) 設立年月 2011年11月
- (2) 資本金 364百万円（増資後、準備金含む）
- (3) 所在地 東京都港区虎ノ門四丁目1番40号
- (4) 代表者 宮崎 良一
- (5) 役職員数 40名
- (6) 事業内容 プロ人材（公認会計士）による企業向けの各種コンサルティング

同社は、公認会計士に特化したプロシエアリング事業を行うコンサルティング会社です。事業の特長として、公認会計士のワーキングプラットフォームである「会計士.job」（2021年11月末現在、約3,000名の公認会計士が登録）を開発運営しており、企業に高品質なサービスをスピーディーにリーズナブルな価格で提供できる体制を整えております。企業の課題は、ガバナンス強化やコンプライアンス順守など、年々高度化・複雑化しており、経営管理の側面から企業成長を支えることを目指す同社へのコンサルティングニーズは拡大を続けております。同社は、各部門のコンサルティングで経験豊富なプロ人材による高いレベルのサポートにより、企業の問題解決の支援を行っております。

また、昨今は、新型コロナウイルス感染症の影響で、企業には根本的なビジネスモデルと業務スタイルの両方について変革を迫られており、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する重要性は従来以上に高まっております。この課題に対しても、同社はこれまで積み上げてきたIPO支援国内トップシエアの実績から得られたノウハウをもとに、企業向けに「IPO/M&A支援」×「資金調達支援」を通じて、企業の持続的成長を支えております。

今回の地方銀行のファンド（当行グループを含め5行）からの調達資金は、地方に拠点を構える企業向けの提供サービス強化のために充当することとしており、当行グループの

営業エリアにおける地域企業の持続的成長の支援強化に資するものです。

当ファンドは、IPOを目指す事業者へのサポート実績や、同社のプロ人材（公認会計士）による地域企業のコンサルティングニーズ対応が地域経済の発展にも貢献することから、同社への投資を決定いたしました。

当ファンドは、同社の第三者割当増資の一部を引き受けることで、資金面での支援を行うとともに、同社の成長発展に向けて積極的に各種ハンズオン支援を行ってまいります。

<当ファンドについて>

当ファンドは、山梨中央銀行グループの出資により設立した投資ファンドです。

地域の将来を担う事業者の育成を図ることで、SDGsを後押しすることを目的とし、投資先への資金供給だけでなく、山梨中央銀行グループが有する販路開拓や経営管理等の各種支援ノウハウを活用したハンズオン支援を併せて行うことにより、投資先の成長・発展や経営改善・事業再生等の効率的な支援を実施いたします。

以 上